

3 研究のまとめ

(1) 成果

新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のある授業とはどのようなものか、また、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、どのように授業を見直し、質的改善を図る手立てについて整理しました。

学習指導過程に沿って生徒の様子や教師の指導を見直し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善の手立てを考えるサポートツールとして、「授業振り返り[スタート]シート」、「授業振り返りシート」、及び授業の質的改善を行う際の手立ての例を示した「手立てシート」を作成し、改訂を進めることができました。

生徒の実態把握からスタートし、学習指導過程に沿った授業の見直しや「主体的・対話的で深い学び」の視点からの改善策の検討と実践に取り組んだことで、生徒の学ぶ姿に様々な変化が見られました。教師も、「主体的・対話的で深い学び」の視点をもって授業づくりを行うことの大切さに気付くことができ、授業の質を高めようという意識が高まりました。

(2) 課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の質的改善を図るまでの道筋や改善の手立ては、生徒の実態に基づいたものであるため、幾通りもあると言えます。2年間で提案したものは、一例に過ぎません。子供たちの将来につながる資質・能力の育成に向けて、私たち教師一人一人が高い意識をもち、よりよい授業づくりを行うために学び続けることが大切だと考えます。

(3) 終わりに

本研究委員会では、伊万里市立啓成中学校、みやき町立中原中学校において、公開授業研究会を開催し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の質的改善の考え方を基にした授業を公開しました。両校には、公開授業研究会の場を提供していただいたことに感謝申し上げます。また、参観された先生方には、貴重な御意見、御感想を頂きました。本当にありがとうございました。先生方から頂いた御意見、御感想は、今後の研究に生かして参ります。

研究スタッフ一同、本研究が、先生方の授業づくりの一助になればと考えております。そして、生徒の学びに還元していただければ幸いです。